

◎米国：コーラン焼却の牧師「私に責任ない」 波紋収まらず

【毎日新聞、2011年4月8日】米フロリダ州のキリスト教牧師、テリー・ジョーンズ氏が先月、イスラム教の聖典コーランを燃やしたことへの波紋が広がっている。アフガニスタン北部マザリシャリフでは今月1日に抗議デモが暴徒化し、国連事務所を襲って職員と警備員7人を殺害するなど、これまでに20人以上が死亡した。ジョーンズ牧師は「イスラム教の過激さを示すもので私に責任はない」と主張。オバマ米大統領とアフガニスタンのカルザイ大統領は6日、ビデオ会談を開き牧師と暴徒の双方を非難するなど、事態の沈静化に躍起だ。

オバマ大統領は、コーラン焼却を「過激な不寛容であり、偏狭な考えだ」とする一方、「無実の人を殺害するのも言語道断だ」と襲撃事件も批判した。アフガニスタン駐留米軍のペトリアス司令官も、コーラン焼却は「憎悪に満ちた極めて不敬な行為」と批判。反米感情をあおり「治安当局の深刻な課題となる」と懸念を示した。

先月20日、ジョーンズ牧師は法廷を模した教会で「テロを広めるなど四つの罪を犯した」としてコーランに有罪を宣告。「焼却の刑」として「法廷」で焼いた。炎を上げて燃え上がるコーランのビデオ映像は牧師の主催するウェブサイトにも現在も掲示されている。

牧師は昨年、米同時多発テロ（01年）が起きたのと同じ9月11日にコーランを燃やす計画を表明。だがゲーツ米国防長官らから「イスラム教徒を刺激して米兵を危険にさらす」と説得され、計画を撤回した。米メディアによると、その後米国にある反イスラムの衛星テレビ局から接触があり、模擬法廷の開催を決めたという。

イスラム教徒への人権侵害に取り組む「米イスラム連絡会議」の広報担当者は「ジョーンズ牧師は注目を集めただけで、反イスラムグループの中にすら同調者のいない極端な人物だ」と話した。

【関連キーワード】コーラン、反イスラーム、宗教（信教）の自由、表現の自由、ムハンマド風刺画事件（2005年）

一神教とは何か

宗教の起源から、現代の一神教世界まで

Overview

- 宗教の起源
- 一神教誕生の地
- 一神教の文明論的系譜
- 一神教の人口分布
- 一神教の統一性と多様性
- 「一神教」概念の形成

宗教の起源

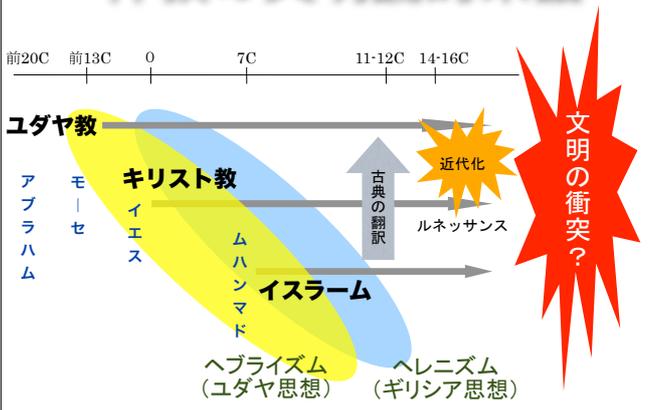
- 死者の葬送
- 死者からの影響を抑制するための「とむらい」
- 例：御霊信仰（祇園祭の起源）
- 宗教は危ない？
- 「宗教」(religion) とは何か？



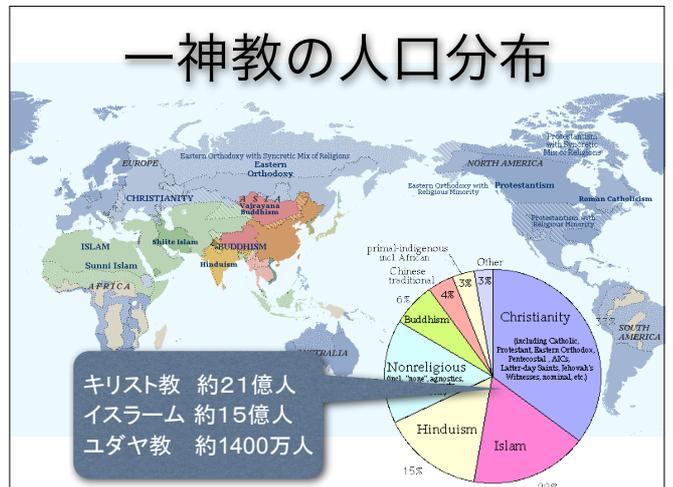
一神教 誕生の地



一神教の文明論的系譜



一神教の人口分布



一神教の統一性と多様性

- ユダヤ教、キリスト教、イスラームの **歴史的共通基盤** の認識
- アブラハム宗教 (**Abrahamic Religion**) としての自己理解
- それぞれの内部にある膨大な **多様性** の認識

ユダヤ教

正統派
Orthodox

保守派
Conservative

改革派
Reform



キリスト教

西方キリスト教世界

ローマ・カトリック教会
↓
英国国教会 (聖公会)
プロテスタント教会
ルター派 (ルーテル) 教会
改革派教会・長老派教会
会衆派教会
バプテスト教会
メソジスト教会、等々

東方キリスト教世界

東方正教会
ギリシア正教会
ブルガリア正教会
ルーマニア正教会
セルビア正教会
ロシア正教会
日本正教会、等々

イスラーム

スンナ派
Sunni

シーア派
Shia



「一神教」概念の形成

- 「一神教」 (**monotheism**) は新しい概念
- 17世紀、ヘンリー・モアによる造語
- 世界の諸宗教における一神教の優位性の主張。西洋 (キリスト教) 文明の優位性の主張にもつながる。
- 19世紀、西洋でキリスト教の「**ヘレニズム化**」 (**脱セム化**)、ユダヤ教・イスラームの「**セム化**」が進み、後の対立の種をまくことになる。
(『宗教のポリティクス』 p.47-51)